



# BIG-IP APM for LTM VE 仮想アプライアンスによる VMware Viewの安全・高速なアクセス環境の実現

VMware Viewなどの仮想デスクトップ (VDI) を使用すれば、企業はユーザデスクトップの管理を効率化できます。ただし、仮想デスクトップ導入が成功するかどうかは、満足の得られるユーザ・エクスペリエンスを提供できるかどうかにかかっています。可用性、パフォーマンス、およびセキュリティのほか、デスクトップ運用費用の削減も重要です。F5® BIG-IP® Access Policy Manager™ for Local Traffic Manager™ Virtual Edition (BIG-IP APM for LTM VE) は、先進的なトラフィック管理により、VMware View に対して最高のパフォーマンス、可用性、セキュリティを保証することでユーザ・エクスペリエンスを最適化し、VMware Viewの導入を成功へ導きます。

## デスクトップ仮想化

VDIを導入すると、デスクトップはデータセンターからネットワークを通じて特定のエンドポイント・デバイスに伝送して利用することになります。これにより、ユーザの主要な作業ツールがそれぞれのローカルマシンではなくデータセンターに配置されるため、VDIはネットワークに大きな負荷を与える場合があり、ユーザ・エクスペリエンスにマイナスの影響が出る恐れがあります。特にWANの遅延が顕著で、企業はネットワーク・トラフィックの増加に対処するため帯域幅をさらにプロビジョニング (ネットワーク帯域幅の追加契約) しなければならない場合があります。VMware Viewでは、PC-over-IP (PCoIP) ディスプレイ・プロトコルも導入されました。多くのリモート・アクセス・デバイスには、この特殊なプロトコルを正しく処理する機能がないため、ユーザ・エクスペリエンスの悪化につながる可能性があります。

モバイルユーザとの間で、その独特な環境との接続を維持するのも課題です。ユーザがあるネットワークから別のネットワークに移動すると、そのセッションが切断され、再接続、再認証や中断する前の接続先へのナビゲーションが必要になります。

どんなシステムを導入する場合も、安全なアクセスとアクセス制御は必ず問題になり、仮想デスクトップも例外ではありません。ユーザはやはり機密性の高い企業情報にアクセスしており、そのためVDI導入でも、強力な認証とセキュリティポリシーの適用やクライアントのコンプライアンス保証がやはり重要です。

最後に、仮想サーバと仮想デスクトップ導入の両方の全てのメリットを享受するには、仮想システムに可用性があり、必要に応じて拡張できるIT環境でなければなりません。

## ソリューション

BIG-IP LTM VEにBIG-IP APMの詳細なアクセス制御機能を組み込むことにより、VMware Viewの仮想デスクトップ環境を最適化し、セキュリティを強化できます。これによりVMware View環境への安全かつ高速なリモートアクセスを仮想アプライアンスで実現します。BIG-IP APM for LTM VEはVMware vSphere環境の仮想マシンとして稼働するため、簡単に既存のインフラストラクチャに追加できます。また仮想デスクトップ上のユーザ数が増加したら、企業はBIG-IP LTM Virtual EditionからBIG-IP LTM物理アプライアンスに簡単に移行できます。

## 主な機能

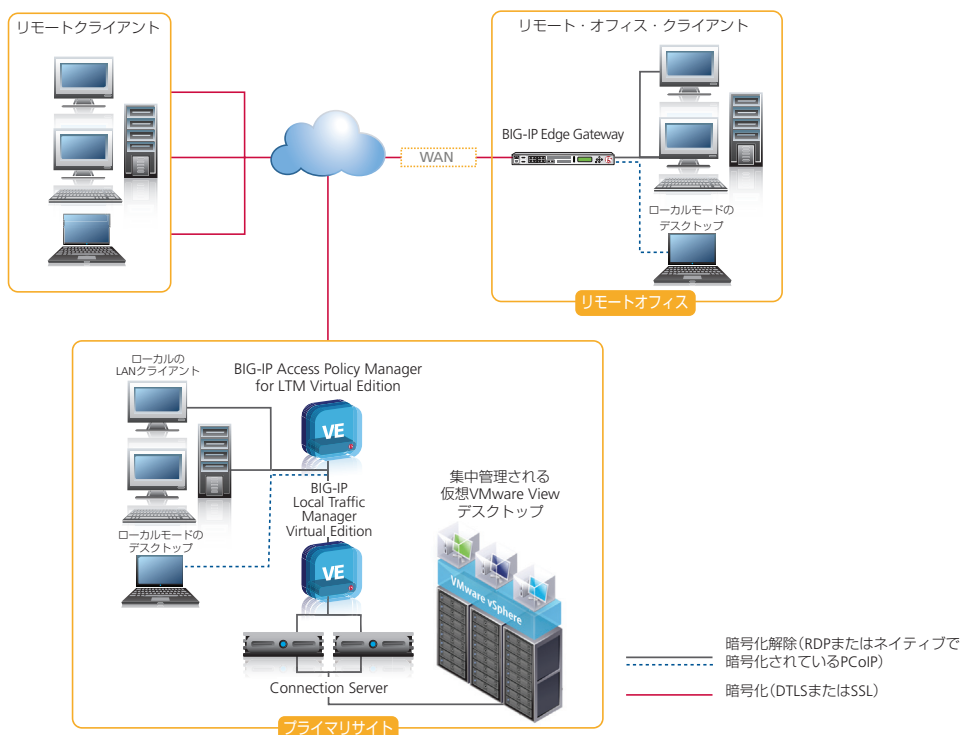
- ログイン前のエンドポイント・デバイス・チェック—セキュリティを強化し、アクセス制御を提供
- エンドツーエンドの暗号化を行う柔軟性—パフォーマンスを下げることなくすべてのVMware View転送プロトコルを暗号化
- 高パフォーマンスPCoIP—DTLSによりPCoIPのパフォーマンスに影響を与えることなく安全なアクセスを提供
- 便利なシングルサインオン—一度ログインしたユーザのクレデンシャル情報を保持

## 主な特長とメリット

- アプリケーションのパフォーマンスと可用性—ロードバランシング、ヘルスマニタリング、およびSSLオフロードをVMware Viewシステムに提供、その結果システムの可用性が向上し、スケーラビリティが拡大
- 認証の簡素化—2要素認証など、幅広い認証メカニズムに対応
- 使用帯域幅削減—ユーザ・エクスペリエンスを維持または強化しながらの削減
- ユーザ・エクスペリエンスの強化—PCoIPトラフィックがネットワーク上の他のトラフィックに優先
- グローバルな可用性と事業継続性の実現—BIG-IP® Global Traffic Manager™をあわせて使用することで、可用性、ディザスタリカバリ、システム拡張、および事業継続性を実現

BIG-IP LTM VEは、ロードバランシング、ヘルスマニタリング、およびSSLオフロードをVMware Viewシステムに提供し、システムの可用性およびスケーラビリティを強化します。ネットワークおよびプロトコルの最適化により、企業はユーザ・エクスペリエンスを維持・向上させる一方で、効率的に帯域幅を管理できます。BIG-IP APM for LTM VEはまた、Datagram Transport Layer Security (DTLS) 機能によりPCoIPのリモートアクセスへの展開にも対応します。この転送プロトコルは、PCoIP通信を転送するために必要なセキュリティを提供し、それでもパフォーマンスを落とさない能力があります。ユーザは自分の仮想デスクトップにアクセスするためにリモート・デスクトップ・プロトコル (RDP) を使う必要がなくなり、PCoIPで直接接続できるようになります。または、企業は段階的なPCoIPへのユーザ移行を計画することもできます。

BIG-IP APM for LTM VEは強力なセキュリティ制御機能を備えており、環境全体の安全を保ちます。ログイン前のホストチェックを実行して要求側のクライアントを検査し、それが一定の安全アクセス基準を満たすかどうか判断します。ソリューションには、2要素認証など幅広い認証メカニズムが備えられており、企業リソースを保護します。BIG-IP APMにより便利なシングルサインオンが有効になり、一度セッションが確立されれば、PCoIPを含むすべてのトラフィックが暗号化されてデータが保護されます。セッションのパーシステンスは、ユーザが再度認証を必要とせず迅速に再接続するのに役立ちます。BIG-IP APM for LTM VEにより、VMware Viewによる仮想デスクトップ管理の認証およびセッション管理の導入が容易に実現できます。



BIG-IP APM for LTM VE と VMware View の導入

## 詳細について

VMware ViewとBIG-IP APM for LTM VEによるアクセス・ソリューションの詳細は、次のリソースを参照するか、[f5.com](http://f5.com) の検索機能を使用してください。

## ソリューションページ

[F5とVMwareで描くクラウドプラットフォーム構築のロードマップ「Fusion」](#)



## F5ネットワークスジャパン株式会社

### 東京本社

〒107-0052 東京都港区赤坂4-15-1 赤坂ガーデンシティ19階  
TEL 03-5114-3210 FAX 03-5114-3201

[www.f5networks.co.jp/fc/](http://www.f5networks.co.jp/fc/)

### 西日本支社

〒530-0017 大阪市北区角田町8-47 阪急グランドビル20階  
TEL 06-7711-1655 FAX 06-7711-1501